

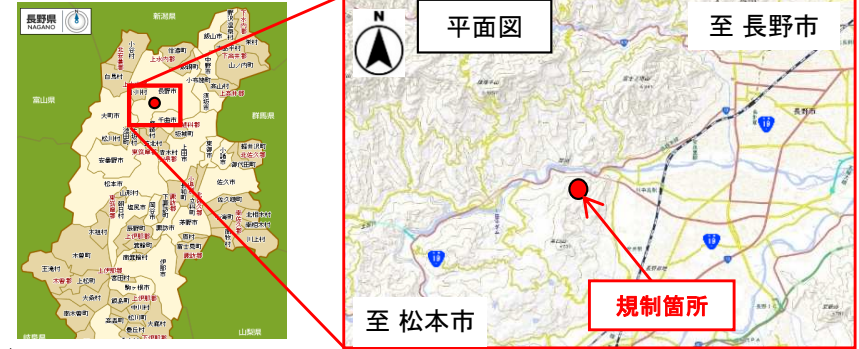
# 第4回長野県長野市篠ノ井小松原地区地すべり連絡調整会議

長野国道事務所作成

## ■概要(経緯)

- 令和3年 7月 6日 7:00頃 長野市篠ノ井小松原において地すべりが発生、現地確認  
14:20 国道19号への影響が懸念されたため全面通行止め
- 令和3年 7月 7日 長野国道、長野県、国土技術政策総合研究所、土木研究所との合同現地踏査、意見交換会を実施。計測機器の設置
- 令和3年 7月 9日 応急復旧工事開始
- 令和3年 7月13日 応急復旧工事完了
- 令和3年 7月13日 第1回国道19号長野市篠ノ井小松原地区地すべり対策検討委員会  
第1回長野県長野市篠ノ井小松原地区地すべり連絡調整会議
- 令和3年 7月14日 6:00 昼間(6:00~21:00)片側交互通行規制に移行
- 令和3年 8月14日 9:20より、降雨により伸縮計の計測値が2.0mm/hを超過したため、全面通行止めを実施し16日16:00に通行止めを解除
- 令和3年10月10日 規制区間延長の短縮(L=300m→L=230m【70m短縮】)
- 令和3年11月 8日 第2回国道19号長野市篠ノ井小松原地区地すべり対策検討委員会  
第2回長野県長野市篠ノ井小松原地区地すべり連絡調整会議
- 令和3年11月19日 21:00より24時間(終日)片側交互通行規制に移行
- 令和3年12月17日 規制区間延長の短縮(L=230m→L=180m【50m短縮】)
- 令和3年12月24日 第3回国道19号長野市篠ノ井小松原地区地すべり対策検討委員会  
第3回長野県長野市篠ノ井小松原地区地すべり連絡調整会議
- 令和4年 1月17日 第4回国道19号長野市篠ノ井小松原地区地すべり対策検討委員会  
第4回長野県長野市篠ノ井小松原地区地すべり連絡調整会議

## ■位置図

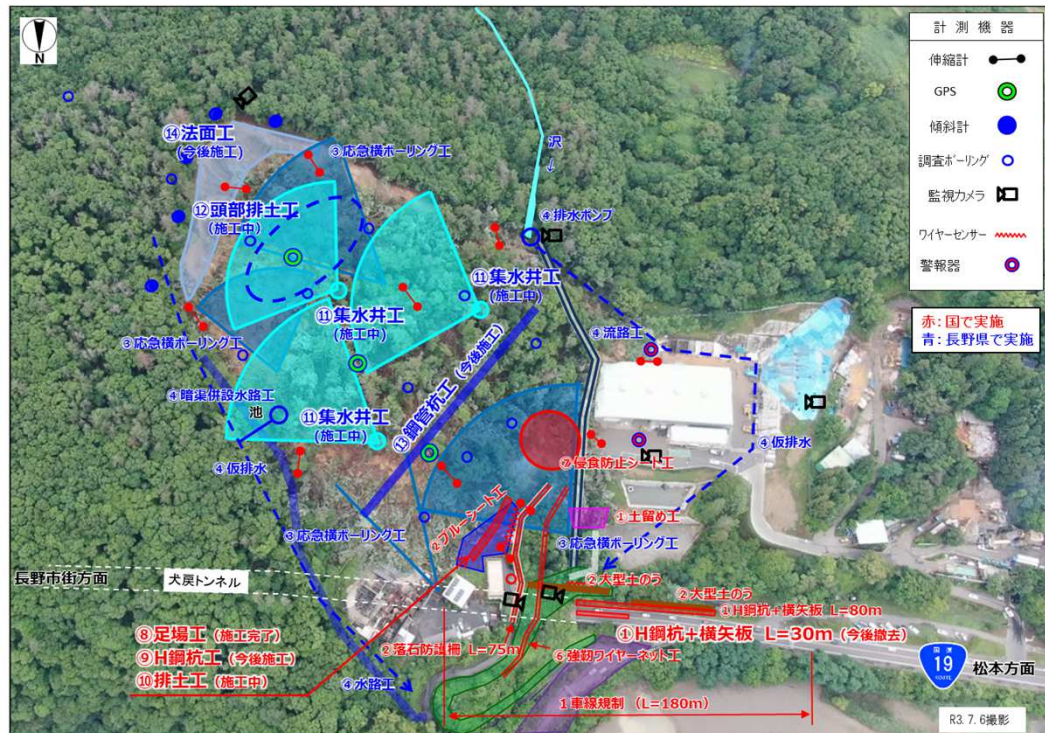


## ■工程(案)

対象区分	作業項目	R3年度											
		7	8	9	10	11	12	1	2	3			
国 末端部の不安定な土塊	応急復旧	①H鋼横矢板、②大型土のう・土留め工・落石防護柵工、③フルード工、⑤各種機器設置											
	修復旧	②大型土のう・土留め工・落石防護柵工											
		⑥強靱ワイヤーネット工											
		⑦侵食防止シート工											
	追加対策	⑧足場工											
		⑨H鋼杭(抑止杭)工											
		⑩排土工											
		⑪H鋼杭+横矢板撤去(セトララウ部)											
		交通開放											
	長野県 長野市 篠ノ井	修復旧	③水抜き横ボーリング、④仮排水										
本復旧		⑪集水井工											
		⑫頭部排土工											
		⑬鋼管杭工											

※降雪などの気象等の影響を受けず、順調に工事が進捗した場合の工程表です。

## ■現地写真(対策工事内容)



## ■全面交通開放(終日対面通行)への移行について

・令和4年2月上旬に全面交通開放を行います。

- ※降雪等の気象等の影響を受けず、順調に工事が進捗した場合
- ※全面交通開放の移行日時は追ってお知らせします

なお、今後も現地でのモニタリングを継続し、下記の基準に達した場合は「全面通行止め」とし、通行車両の安全を確保します。

### 【全面通行止めを行う基準】

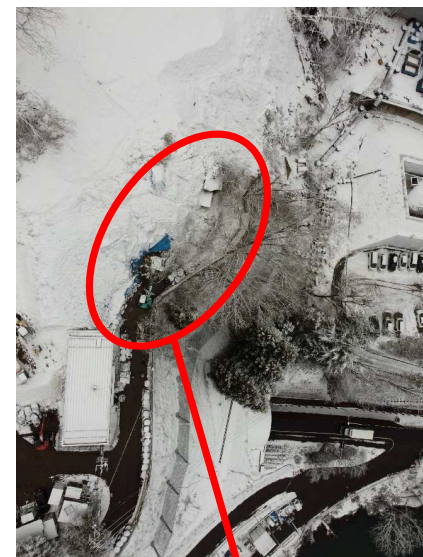
- ①地すべり箇所を設置した伸縮計で2.0mm/h以上の変位量を計測した場合
  - ②長野国道の設置した雨量計で60分雨量が20mmもしくは連続雨量が80mmを超えた場合
  - ③監視カメラによる監視で異常が確認された場合
- ※緊急自動車及び路線バスも通行不可とします。

### 【全面交通開放への再移行について】

伸縮計の変位量が2.0mm/h未満かつ降雨量2.0mm/h以下を3時間連続して計測し、現地の点検等で安全が確認できた段階で全面交通開放へ移行します。  
※緊急自動車及び路線バスについては2.0mm/h未満となった時点で通行出来るものとします。(通行可能となった時点で長野国道より通行可能な旨連絡します。)



■現地写真(対策工事内容)



不安定土砂等の撤去(12月24日)

不安定土砂等の撤去(1月12日)

- 7月6日 地すべり発生 14:20より全面通行止め
- 7月14日 昼間(6:00~21:00)片側交互通行規制開始
- 10月18日 防災・減災対策等強化事業推進費 10億円
- 11月19日 24時間(終日)片側交互通行規制開始

【現在までに実施済みの対策】

- ・H鋼杭+鋼矢板 ・大型土嚢 ・ブルーシート設置 ・落石防護柵
- ・コンクリート板破碎 ・計測機器及びカメラ
- ・表面浸食防止 ・強靱ワイヤーネット

【交通解放までに行う対策】

- ・不安定土砂等の撤去・H鋼杭+横矢板(センターライン部)撤去

【今後の予定】

より安全性を高める更なる対策工事として抑止杭工・排土を予定しています。



H鋼杭+横矢板撤去(今後実施)